

個別支援計画(案)

利用児氏名:木澤 悠馬(2018年1月7日生:7歳4か月)

放課後等デイサービス スキップ瀬名
作成年月日: 令和7年5月23日

利用児及び家族の生活に対する意向	・いろいろな友達と仲良くなりたい(本人)。 ・周りの状況に合わせて行動できるようになってほしい(保護者)。	
総合的な支援方法	スキップ瀬名に慣れてきたようで、リラックスして過ごす姿が増えてきた。他児とカードゲームやボードゲーム、レゴブロック等で遊ぶ中で、他児とのかかわりも増えている。言葉でのコミュニケーションも多く、自分の考えを言ったり相手の話を聞いたりする姿も見られる。一方で、楽しくなりすぎてしまい遊びが雑になったり、使っているものを片付けずに次の遊びを始めてしまったりすることもある。その場合も、声をかけることで片付けや切り替えはできている。集団活動への参加に関しては、積極的とは言えないが拒否することではなく参加できている。集団活動時以外の日常生活(送迎時や身支度等)においても、周りの状況に合わせて行動することができるように支援していくことが必要だと思われる。	
長期目標	周りの状況に合わせて行動できるようになる。	支援の標準的な提供時間 (曜日・頻度、時間)
短期目標	自分の考えや気持ちを言葉で表現する。	週1日(金)利用 学校登校日ー学校終了～17:30 学校迎え・自宅送り 学校休業日ー9:30～16:00 自宅送迎

項目	具体的な目標	支援内容 (内容・支援の提供上のポイント・5領域*との関連性)	達成時期	担当者 提供機関	留意事項	優先 順位
本人支援	安心して過ごす中で、いろいろな友達とかかわろうとする。	・気の合う友達との関係を土台にしながら、いろいろな友達とかかわることができるように投げかけていく。 ・安心して過ごすことができるように、本児が興味をもつことができる遊びや活動を取り入れていく。	健康・生活 人間関係・社会性	6ヶ月 (週1日)	保育士 作業療法士	連絡ノート等で、ご家庭と情報を共有する。
本人支援	自分の気持ちや困っていることを、相手に伝えようとする。	・本児の様子を見ながら、自分の気持ちを言葉で伝えても良いことを伝えていく。また、言葉で表現できた姿を認め、自信をもつことができるようにしていく。	健康・生活 言語・コミュニケーション 人間関係・社会性	6ヶ月 (週1日)	保育士 作業療法士	連絡ノート等で、ご家庭と情報を共有する。
本人支援	周りの状況に合わせて行動しようとする。	・遊びから片付けへの切り替え時や集団活動の際に、他児の動きに目を向けるように投げかけることで、状況を把握することができるように支援していく。	健康・生活 運動・感覚 言語・コミュニケーション	6ヶ月 (週1日)	保育士 作業療法士	家庭や学校と情報を共有しながら支援していく。
家族支援	自分の気持ちに折り合いをつけることができるようになる。	本児の気持ちを受け止めつつ、自分で切り替えができるように促していただく。		6ヶ月	児童発達支援管理責任者 担当スタッフ ご家族	連絡ノートや面談等で情報を共有する(家族支援加算)。
移行支援	周りのペースに合わせて集団生活を送ることができるようになる。	・自分のペースで過ごすだけではなく、周りの状況や時間に合わせて行動する大切さを伝えていく。		6ヶ月	児童発達支援管理責任者 担当スタッフ 学校の担当の先生	必要に応じて、送迎時に学校と情報交換を行う。

*5領域の視点…「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」

提供する支援内容について、本計画書に基づき説明しました。

本計画書に基づき支援の説明を受け、内容に同意しました。

児童発達支援管理責任者: 高城 聡之

令和 年 月 日 (保護者署名)